

建 第 359 号

平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

河津町長 櫻 井 泰 次

(公 印 省 略)

今後の道路行政についての意見・提案について (回答)

このことについて別添のとおり送付します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県河津町

人口減少、高齢化比率の上昇等により大きく社会的構造が変化していく状況は、地方において社会資本整備の遅れや地域格差等の現象が生じており生活確保が危惧される。今後、新たな中期計画策定に当たってはこのような状況を踏まえそれぞれの地域性を充分に取り入れ地域政策と十分な整合性を図り、均衡ある国土の発展を望みます。

このため次の事項について強く要望する。

- 1 新たに整備計画策定にあつては地方格差を是正し地方が元気になるような高速道路ネットワーク化早期整備
- 2 災害発生時の緊急輸送路・救急医療施設への道路網の早期整備
- 3 徹底した建設コストの縮減化
- 4 重点的、効率的、かつ工期短縮の事業推進

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

静岡県河津町

②－１ 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○現状 伊豆地域は、豊かな自然と恵まれた温泉を生かした観光を主産業とする国内有数の観光地として独自の魅力を創出し誘客に努めていますが、来遊客の大半が自家用車を利用しており 2 月、3 月に当町で開催する河津桜祭りや夏季シーズンにおいては、伊豆地域全体に慢性的な渋滞を引き起こし地元生活者にも多大な影響が出ている現状であります。このように「伊豆の観光は渋滞を避けて通れない」というマイナスイメージを払拭し、素晴らしい伊豆の自然を満喫していただき、渋滞というストレスから解消された快適・安心・安全に人や物が移動できる高速道路網整備は重要であり、かつ急務であると考えます。また、医療面では伊豆地域から第三次救急医療機関までの搬送に 1 時間以上かかり地域住民の暮らしにも多大な影響を与えている	○課題
---	------------

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－２ 地域の目指すべき将来像

静岡県河津町

豊かな自然と花と温泉を活かしたまちづくりの推進と快適で安心・安全に人や物が移動できる市町道から高規格道路まで道路のネットワーク化を推進

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

静岡県河津町

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1 伊豆半島の魅力ある地域づくりの構築には高速道路のネットワーク化が最重要 2 災害発生時の緊急輸送路・救急医療施設への道路網の早期整備 3 自然資源を維持するための環境アセスを考慮した道路整備 4 地域自立のため、地域情報等を発信できる空間及び施設整備	道の駅等		